

7 本時の学習 (5/7)

(1) 目標

食べ物のつながりの中で、生物と環境の関わりについてより妥当な考えをつくり出し表現することができる。

(2) 働かせたい見方・考え方

- ・生き物と環境とのつながりを意識しながら考えている。
- ・複数の結果からより妥当な考えを導いている。

(3) 展開

学習活動	・指導・支援 評価 []
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 食べ物は生き物が生きるためにどのように関わっているだろうか。 </div>	
<p>1 学習問題の確認</p> <p>2 観察、調べ学習の結果の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メダカは、ミジンコを食べて・・・。 ・メダカはザリガニに食べられる。 ・ライオンは、シマウマを食べて・・・。 ・一方通行のような関係になっている。 ・ダンゴムシは葉っぱなど植物を食べて分解してそれを植物が栄養としているのでぐるっと回っている関係になっている。 <p>3 考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物は生きるために食べる関係と、食べられる関係になっている。つながりとしては、一方向のつながりになっている。 ・ダンゴムシなどの排泄物は微生物などに分解されると植物の栄養にもなりまわっている。 <p>4 次の学習の確認</p> <p>水について見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの確認。 ・生き物同士のつながりを多面的に捉えられるように、陸地、水中、空、地中のものを分けて掲示する。 ・共通性を見いだすことができるようにそれぞれのものを黒板に残るように掲示する。 ・生き物のつながりに目が向いた発言は線を引くなどして強調し、その後の考察につながるようにする。 ・自分の考察（元々の考察）と比較し、友だちの結果を聞くことで自分の考えが深まったことを実感できるようにする。児童を取り上げるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> 食べ物のつながりの中で、生物と環境の関わりについてより妥当な考えをつくり出し表現している。(思①) </div>